

報道関係各位

2020年11月9日

LIXILグループ、LIXILビバの株式譲渡を完了

株式会社 LIXIL グループ（以下 LIXIL グループ）は、子会社である株式会社 LIXIL ビバ（以下 LIXIL ビバ）の全普通株式の譲渡を完了しましたのでお知らせいたします。今回の取引は、アークランドサカモト株式会社（以下 アークランドサカモト）が LIXIL ビバを完全子会社化するための一連の取引として実施した LIXIL ビバの普通株式に対する公開買付けの成立および LIXIL ビバの普通株式に係る株式併合の完了を受け、LIXIL ビバにより実施された自己株式取得を通じ当社が保有する LIXIL ビバの全普通株式を譲渡したものです。

LIXIL ビバは、ホームセンターの『ビバホーム』や大型店『スーパービバホーム』などを展開し、建築業界のプロフェッショナルと一般のお客様向けに、建築資材や工具から日用品まで豊富な品ぞろえをワンストップで提供しており、ホームセンター業界において確固たる地位を築いています。

LIXIL グループの社長兼 CEO 瀬戸欣哉は次のようにコメントしています。「この度、LIXIL ビバのアークランドサカモトへの株式譲渡を無事完了することができ、喜ばしく思います。当社では、持続的な成長に向けて、バランスシートの強化や基幹事業である水まわりと住宅建材事業への注力を進めてきましたが、この株式譲渡はこうした取り組みを大きく前進させるものです。一方、LIXIL ビバは、競争が激化するホームセンター業界において、さらなる成長を支える強力なオーナーを得ることができました。当社は、今後、独立性のあるサプライヤーとして、ホームセンターを展開する様々な事業者との関係をさらに強化してまいります」

12月には、LIXIL グループと株式会社 LIXIL との合併を予定しており、今回の株式譲渡は、これまで推進してきた事業の簡素化、事業間シナジーと事業効率の最大化に向けた事業ポートフォリオの最適化、基幹事業へリソースの集中といった変革の取り組みを加速させる上で、大きな弾みとなります。LIXIL グループは、中期計画に基づき、持続的な成長と世界中の人びとのより豊かで快適な住まいと暮らしの実現に向けて、起業家精神にあふれた組織を構築するため、事業・組織面での改革を継続していきます。

本件に関する詳細は、2020年6月9日付の[発表資料](#)をご覧ください。

■LIXILについて

LIXILは、世界中の誰もが願う豊かで快適な住まいを実現するために、日々の暮らしの課題を解決する先進的なトイレ、お風呂、キッチンなどの水まわり製品と窓、ドア、インテリア、エクステリアなどの建材製品を開発、提供しています。ものづくりの伝統を礎に、INAX、GROHE、American Standard、TOSTEMをはじめとする数々の製品ブランドを通して、世界をリードする技術やイノベーションで、人びとのより良い暮らしに貢献しています。現在約60,000人の従業員を擁し、世界150カ国以上で事業を展開するLIXILは、生活者の視点に立った製品を提供することで、毎日世界で10億人以上の人びとの暮らしを支えています。LIXILなどのブランドを展開する、株式会社LIXILグループ（証券コード: 5938）は、2020年3月期に1兆6,944億円の連結売上高を計上しています。

LIXILについて：www.lixil.com/jp、<https://www.facebook.com/lixilcorporation/>